

第50回(2019年度) 科学放送高柳賞 番組募集のご案内

ごあいさつ

平素は、本法人への格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。
本法人は、電子科学技術に関する独創的な研究開発に対し研究助成を行い、優れた研究業績者を表彰することにより、わが国の科学技術の振興に寄与し、豊かな社会の創造に貢献することを目的としています。

その公益目的事業の一つとして、科学放送高柳賞の表彰を行っています。
科学技術の振興とその知識の向上に役立つ優れた科学放送番組を奨励し、番組内容の向上に寄与することを目的とした賞です。

ここに、第50回番組募集要項のご案内をさせていただきます。
奮ってご応募賜りますようよろしくお願い申し上げます。



理事長 末松安晴



世界初の電子映像表示に成功した高柳健次郎と財団設立

高柳健次郎は、1926年、独自に開発したブラウン管に「イ」の字の電子映像表示に世界で初めて成功し、1939年にはNHKでテレビジョン実験放送開始に至った。この業績は後にIEEEマイルストーンに認定される。戦後はテレビジョン同好会(現在の映像情報メディア学会)を創設するなどしてテレビジョンの実用化と発展に努めた。高柳が開拓した電子映像ディスプレイは、テレビジョンの映像表示のみならず、電子機器の発展につれて「人間と機械の対話機器」へと発展し、今日ある映像文化の基盤や情報技術社会の発展を支えている。これらの功績により1981年に文化勲章を受章した。

その榮譽に対して「決して私一人の力で成しえたことではありません」と謙虚に述べ、「初期の研究過程に於いて、研究費が不足して困ったときに助けられた有難さを今も忘れることがない」と感謝している。そして「これまでの多くの方々より受けたご恩に報い、併せてわが国の電子科学技術の振興に些かなりとも寄与したい」と念願して、私財を基に1984年に財団を設立した。当財団は、科学技術の振興、世界の文化向上に繋がる良い科学番組を表彰する日本で唯一の財団です。



公益財団法人 高柳健次郎財団

〒102-0082 東京都千代田区一番町4番地5 ニューライフ一番町309
TEL 03-3239-1207 FAX 03-3262-3028
E-mail tkinenz@oak.ocn.ne.jp
URL <https://takayanagi.or.jp>

第50回(2019年度) 科学放送高柳賞 番組募集要項

科学放送高柳賞は、科学技術の振興とその知識の向上に役立つ優れた科学放送番組を奨励し、番組内容の向上に寄与することを目的としています。

1. 科学放送高柳賞の種類

最優秀賞	1件	表彰盾を贈呈
優秀賞	2件	表彰盾を贈呈

2. 募集番組

2018年9月1日から2019年8月31日までの期間に、国内の一般視聴者を対象に地上波、BS、CS、CATV等で放映された(4K、8K放送含む)、下記に該当する優れたテレビ番組を募集します。

- (1) 新しい科学や技術・技能の振興に役立つ番組
- (2) 科学技術の理解、知識の普及・向上などに役立つ番組
- (3) 新しい放送技術、番組構成あるいは新規なテーマ等によって制作された番組など

3. 応募方法

- (1) 番組を放送した放送局からの応募とし、規定の応募用紙に記入し、CMカットの番組収録のブルーレイディスクを同封の上、事務局あて郵送して下さい。
また、8K&4K 放送番組の応募は、事務局にご相談ください。
応募用紙は、こちらからダウンロードできます→
応募ブルーレイディスクの表記ラベルは、3ページの要領をお願いします。
- (2) 応募作品は、一社2作品までとします。又、応募作品は、返却いたしません。
- (3) 入賞番組は、公益財団法人放送番組センターが運営する放送ライブラリーで保存・公開することを目的として、同センターに提供することを予めご了承ください。
なお、保存・公開に関する詳細については、放送番組センターとの間で協議をお願いします。

4. 応募期間 2019年8月1日～9月10日 事務局あて必着でお願いします。

5. 審査方法及び表彰

- (1) 審査は、当法人の審査委員会にて、科学放送高柳賞審査規程に基づき厳正に実施します。
- (2) 審査結果の発表は、10月理事会の承認を経て書面にてご案内いたします。
- (3) 表彰対象は、入賞した番組を放送した放送局とします。
- (4) 表彰式は、2020年1月20日(月) 会場 千代田放送会館で開催します。

6. 後援 日本放送協会 一般社団法人日本民間放送連盟

7. 応募および問い合わせ先 公益財団法人 高柳健次郎財団 事務局
〒102-0082 東京都千代田区一番町4-5 ニューライフ一番町 309
TEL 03-3239-1207 E-mail tkinenz@oak.ocn.ne.jp

ディスク表記ラベルの記載について

下記の要領にて作成をお願い申し上げます

1. 第50回(2019年度) 科学放送高柳賞
2. 番組名
3. 放送日
4. 所要時間
5. 放送局名

(第49回 2018年度の応募作品の表記例です。)



第49回
2018年度

科学放送高柳賞 最優秀賞

番組名 「パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ「WHO I AM」
森井大輝(日本/アルペンスキー)【平昌パラリンピック完全版】」

●放送局:株式会社WOWOW ●放送日:2018年5月4日(54分間)



WOWOWと国際パラリンピック委員会(IPC)が共同で立ち上げた大型スポーツドキュメンタリーシリーズ。

リオパラリンピックが開催された2016年から、東京パラリンピックが開催される2020年まで5年にわたり、世界最高峰のパラアスリートに迫る。

競技においてはもちろん、人生においても自信に満ちあふれ、「これが自分だ!」という輝きを放つ選手たちを描く。ナレーターを務めるのは、西島秀俊。

毎シーズン、世界中の8人のパラリンピックメダリストに密着し番組を制作・放送している中の、シーズン2唯一の日本選手としてパラアル

ペンスキー日本代表のエース、森井大輝(もりいたいき)に密着。

過去のパラリンピックでは3度の銀メダルに輝きながら、唯一手が届かなかった金メダルを目指した森井が、2018年3月に行なわれた運命の平昌パラリンピックに挑むまでの全軌跡。

第49回
2018年度

科学放送高柳賞 優秀賞

番組名 「衝撃! 未来テクノロジー 2030年世界はこう変わる」

●放送局:株式会社BSテレビ東京 ●放送日:2017年10月29日(114分間)



日々進化を遂げる科学技術。我々の生活は将来、最先端技術によってどう変化していくのか? 番組ではモビリティ(交通)、医療、AI(人工知能)といった技術の研究開発の現場を米西海岸や日本国内で取材、2030年に我々の生活がどう変わるかを大胆に予測する。

モビリティ分野では、米西海岸で電気自動車テスラのCEOイーロン・マスク氏が主導する未来型交通網のコンテストをレポート。真空チューブの中を時速1200キロで疾走するという構想に夢を抱く慶応大学のチームにも密着取材した。そのほか実現が視野に入った「空飛ぶクルマ」の最新事情も紹介する。

医療では日本のベンチャー企業が挑む最先端の筋電義手や、体内を巡って病気を治すナノマシンを取材。米国で進む遺伝子レベルのがん診断の実情も報告する。iPS細胞でノーベル賞を受賞した山中伸弥・京大教授をインタビュー、2030年の医療の現場を予測する。

創造・芸術の世界まで視野に入り始めたAIの活用では、いずれ到来するといわれる「AIが人間を超えるシンギュラリティー(技術的特異点)」の時代を見据え議論した。

第49回
2018年度

科学放送高柳賞 優秀賞

番組名 「NHKスペシャル シリーズ古代遺跡透視 大ピラミッド発見! 謎の巨大空間」

●放送局:日本放送協会 ●放送日:2017年11月4日(49分間)



4500年前に作られた世界最大、エジプト・クフ王の大ピラミッド。「人力だけで、どのようにして作られたのか」「クフ王のミイラは一体どこにあるのか」「古来より伝わる『秘密の部屋』は本当に存在するのか」など、今なお数多くの謎に包まれています。

その謎に挑むために注目したのが「ミュオン透視技術」。宇宙線ミュオンが物体をすり抜ける性質を使って、巨大構造物を透視する新技術です。NHKは2014年春から、福島原発事故の廃炉作業のために「ミュオン透視技術」を開発していた2つの研究機関(名古屋大学・高エネルギー加速器研究機構)と共同研究体制を作り、ピラミッドを透視するための技術開発を進めてきました。

この技術をエジプトの大ピラミッドの内部に持ち込み、2年がかりの透視調査を行った結果、大ピラミッド内部に、これまで全く知られていなかった「通路」のような空間や、200人乗りの旅客機に相当する驚きの巨大空間があることが明らかになりました。この成果は権威ある英国の科学雑誌「ネイチャー」電子版に掲載され、2日後にこのNHKスペシャルで発表されることとなりました。

■ 放送期間/2017年9月1日~2018年8月31日 ■ 応募放送局/9局 ■ 応募番組数/11番組

入賞番組の一般公開

本年度の入賞番組は、制作局の了解の上、公益財団法人放送番組センターが運営する、放送番組専門の公開施設「放送ライブラリー」において、後日、一般に無料で公開することにしております。

◆放送番組専門の公開施設「放送ライブラリー」のご案内

- 場 所 横浜情報文化センター 8F
神奈川県横浜市中区日本大通11 TEL.045-222-2828
(交通アクセス)みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口(情報文化センター口)直結
JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分
- 開館時間 10時~17時 (視聴受付は、閉館30分前まで)
- 休 館 日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は、次の平日)、年未年始

公益財団法人番組放送センターの「放送ライブラリー」は、放送法に基づく、わが国唯一の放送番組専門のアーカイブ施設であり、NHKと民放のテレビ、ラジオ番組とCMを公開しています。

詳細は、ホームページ <http://www.bpcj.or.jp/> をご参照ください。

■ 科学放送高柳賞 受賞番組並びに放送局

(第28回～第43回 科学放送高柳記念賞／第44回科学放送 高柳健次郎賞)

回数/年度	受賞名	番組名	放送局名
48回 2017年	最優秀賞	「カムイの鳥の軌跡 ～オオジシギ2つの物語～」	北海道テレビ放送株式会社
	優秀賞	「ゴミノヒカリ～未来を照らすアルミゴミ発電～」	株式会社チューリップテレビ
	優秀賞	「村山斉の宇宙をめぐる大冒険」	日本放送協会
47回 2016年	最優秀賞	NHKスペシャル「ミラクルボディー 世界最強の人魚たち」	日本放送協会
	優秀賞	カンブリア宮殿 「世界が驚いた新素材革命!人口モ糸&石から作る“魔法の紙”」	株式会社テレビ東京
	優秀賞	「野生のいのち 死の連鎖」	北海道テレビ放送株式会社
46回 2015年	最優秀賞	SBS防災特別番組「富士山鳴動す-火の山の危機と予知-」	静岡放送株式会社
	優秀賞	「トキ 新世界を生きる」	株式会社新潟放送
	優秀賞	NHKスペシャル「腸内フローラ～解明！驚異の細菌パワー～」	日本放送協会
45回 2014年	最優秀賞	NHKスペシャル「アルツハイマー病をくい止める！」	日本放送協会
	優秀賞	テレビ東京系列「カンブリア宮殿”ノーベル賞御用達！”光の技術を極める超絶企業」	株式会社テレビ東京
	優秀賞	TOYAから明日へ！「氷の島のメッセージ」～グリーンランド温暖化の最前線から～	北海道テレビ放送株式会社
44回 2013年	高柳健次郎賞	未来世紀ジパング～”アルマ展望台”プロジェクト	株式会社テレビ東京
	奨励賞	NHKスペシャル「世界初撮影！深海の巨大イカ」	日本放送協会
	奨励賞	生命38億年スペシャル・最新遺伝子ミステリー「人間とは何だ…!?」	株式会社TBSテレビ
43回 2012年	高柳記念賞	NHKスペシャル「宇宙の渚」第1集 謎の閃光 スプライト	日本放送協会
	奨励賞	KBSふるさとスペシャル「未来を回せ～富山発・小水力発電の可能性～」	北日本放送株式会社
	奨励賞	「風を集めて”レンズ風車”未来への挑戦」	RKB毎日放送株式会社
42回 2011年	高柳記念賞	「クニマスは生きていた！」	株式会社毎日放送
	奨励賞	コスミック フロント ～発見！驚異の大宇宙～「迫りくる太陽の異変」	日本放送協会
	奨励賞	チャンネル4「三兄弟が挑んだ命の鼓動～国産初・植え込型補助人工心臓開発物語～」	株式会社テレビ信州
41回 2010年	高柳記念賞	「神の鳥からの警告」	富山テレビ放送株式会社
	奨励賞	NHKスペシャル「ハッブル宇宙望遠鏡 宇宙の始まりに挑む」	日本放送協会
	企画賞	「人類よ 宇宙人になれ 立花隆VS小学生」	日本放送協会
40回 2009年	企画賞	「ノンフィクションW」街が踊る！ビルが笑う！デジタルサイネージで変わる世界	株式会社WOWOW
	高柳記念賞	「クエスト～探求者たち～宇宙エレベーターで宇宙へ！青木義男教授の挑戦」	株式会社WOWOW
	奨励賞	「富山湾・あいの海」	富山テレビ放送株式会社
	奨励賞	NHKスペシャル「病の起源 第4集 読字障害～文字が生んだ病～」	日本放送協会
39回 2008年	企画賞	「ニッポンの恐竜はどこから来たのか」	福井放送株式会社
	高柳記念賞	素敵な宇宙船地球号「世界遺産の光と影 Vol.9～屋久島のいのちの森～」	株式会社テレビ朝日
	奨励賞	「めんたいキッズ08～こどもたちが番組作りに挑戦～」	株式会社福岡放送
	奨励賞	NHKスペシャル「眠れる再生力をよびませ～脳梗塞・心筋梗塞治療への挑戦～」	日本放送協会
38回 2007年	企画賞	「探Qサイエンス」	株式会社テレビ西日本
	高柳記念賞	NHKスペシャル「赤ちゃん 成長の不思議な道のり」	日本放送協会
	奨励賞	「因島造船物語 撓鉄と生きる人々」	株式会社テレビ新広島
	奨励賞	「豊なる干潟～坂田明が見た豊前海の神秘～」	大分朝日放送株式会社
37回 2006年	企画賞	素敵な宇宙船地球号「CO2スリム大作戦」	株式会社テレビ朝日
	高柳記念賞	「カナリヤの子供たち～検証・化学物質過敏症～」	日本テレビ放送網株式会社
	奨励賞	ガイアの夜明け「最先端！オーダーメイド医療～あなただけの治療法選びます～」	株式会社テレビ東京
	奨励賞	「SBSスペシャル 秋津の岸辺」	静岡放送株式会社
企画賞	素敵な宇宙船地球号 シリーズ ミクロの生命体「微生物ハンターが人類を救う」	株式会社テレビ朝日	

回数/年度	高柳記念賞	高柳記念奨励賞	高柳記念企画賞
36回 2005年	中京テレビ放送株式会社 番組名 「感染症の世紀～ウイルスハンター～人類の終わりにさき闘い」	北海道テレビ放送株式会社 株式会社テレビ東京	日本放送協会
35回 2004年	日本放送協会 番組名 地球ふしぎ大自然「幻想！夜に草原が輝く ブラジル光るアリ塚の謎」	北陸放送株式会社 テレビ愛知株式会社	株式会社TBSテレビ
34回 2003年	テレビ愛知株式会社 番組名 「よみがえれ三河湾！～スナメリのいる海～」	株式会社テレビ東京	株式会社テレビ朝日

第33回2001年以前の受賞番組・放送局は、ホームページ(<https://takayanagi.or.jp>) 科学放送高柳賞をご参照ください。

■ 第1回～第27回 科学放送振興協会 主催 (うち、第16回～第27回 高柳記念財団 後援)/ 第28回～ 高柳記念財団・高柳健次郎財団 主催

2019年 月 日

第50回(2019度) 科学放送高柳賞 番組応募用紙

番組名		放送日	年 月 日 時間 分間
放送局名		所属名	
番組概要	放送媒体 (いずれかに○印) : 1 地上波 2 BS 3 CS 4 CATV		
応募理由、制作者の思いなど			
	担当者名	電話	メールアドレス
連絡先			
住所	〒		